

2019年8月期 第3四半期決算説明資料

2019年7月10日

株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS
(東証第一部・9418)

代表取締役社長 CEO

宇野 康秀

Copyright © 2019 USEN-NEXT HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved.

USEN-NEXT HOLDINGS



目次

1.

2019年8月期 第3四半期決算について

2.

2019年8月期 業績予想進捗について

3.

USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

2019年8月期 第3四半期連結決算のポイント

1.

各指標とも業績予想に対して概ね計画通りに推移

売上高 1,283億円 (進捗率: 75.5%)
営業利益 61億円 (進捗率: 77.4%)

2.

**高収益事業である店舗サービス事業は安定的に推移、
安定成長事業である業務用システム事業は好調に推移**

3.

**高成長事業であるコンテンツ配信事業・エネルギー事業は、
引き続き堅調に推移し、売上高を大きく積上げ**

(単位：百万円)	2019年8月期 第3四半期累計
売上高	128,390
営業利益	6,198
営業利益率(%)	4.8%
経常利益	5,279
親会社株主に帰属する当期純利益	2,474
一株当たり当期純利益 (円)	41.20

- ・ **各指標業績予想に対して順調に推移**
- ・ **前年同時期（9-5月）の業績比較では売上で約16%の増収
営業利益以下の指標については同水準で推移**

※前期、変則決算およびセグメント変更したため前年同期比較については見合わせております。
 ※決算短信での前年同期業績は換算する月が異なります。

店舗サービス事業

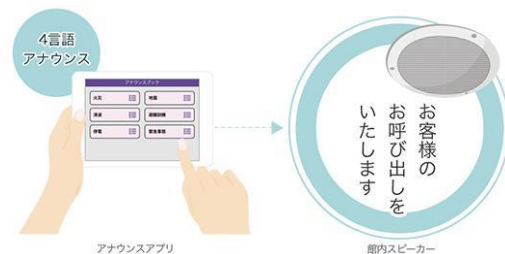
売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
35,670	6,393

主力の音楽配信に加え、消費税増税に伴う軽減税率対応に即したPOSレジ「Uレジ」やWi-Fi「USEN SPOT」、決済サービスの「USEN PAYGATE」等の業務店関連商材および、少額短期保険の販売を強化。店舗のIoT市場の開拓を積極的に進めており、今迄の“音楽配信のUSEN”から“店舗総合支援サービスのUSEN”へのブランドチェンジを推進。

● TOPICS

● USEN、大阪城で多言語の館内放送

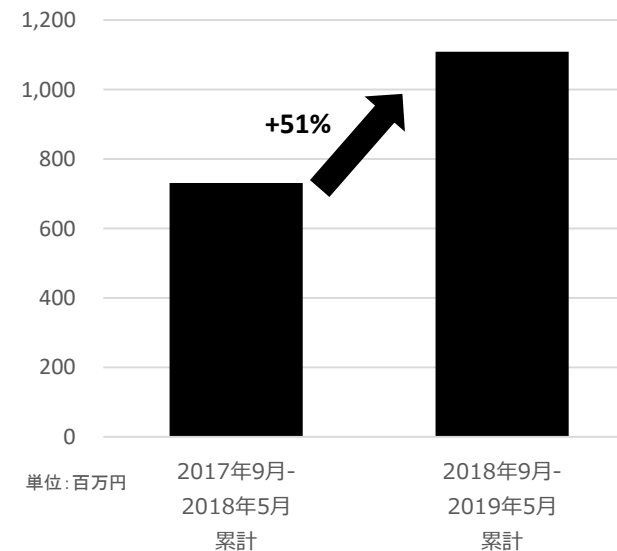
2019年4月25日「日本経済新聞 電子版」



<導入事例>

館内放送の多言語対応サービスを大阪城に導入しました。一般案内のほか、迷子や落とし物の呼び出しなどが日・英・中・韓の4カ国語で可能です。タブレット端末で専用アプリを操作して使えるようにし、外国語の話せる職員の不足などの課題に対応します。

● 成長事業商材のKPI (Uレジ)



● 店舗向けIoT事業商材「Uレジ」は約1.5倍の増収
※器材売上等イニシャル売上を含まないランニング売上のみ

通信事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
29,805	2,326

ブロードバンド回線の販売代理は、小規模事業者向けを中心とした新規獲得活動が引き続き堅調に推移。また、オフィスのICT環境構築における、ネットワーク関連サービスやクラウドサービスの販売も強化。

● TOPICS

・「USEN Smart Works」設立

2019年4月23日「PR TIMES」



<事業会社設立>

SaaSのビジネスモデルが国内市場で急速な成長を見せている事業環境を踏まえ、当社のグループ会社である「株式会社 USEN ICT Solutions」のクラウド事業を分社化し、新たに「株式会社 USEN Smart Works」を設立しました。



業務用システム事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
29,805	2,326

ホテル市場では、訪日外国人への対応や人手不足を補完するべく、引き続きホテル管理システム、自動精算機等の導入ニーズが高いことから、新商品の市場投入や提案型営業を強化。病院市場では、病院の会計を後払いにできるスマートフォンアプリ「Sma-pa CHECK OUT」を市場投入。

● TOPICS

・病院の会計を後払いにできる「Sma-pa CHECKOUT」を東京医大病院に納入

2019年3月27日「payment navi」

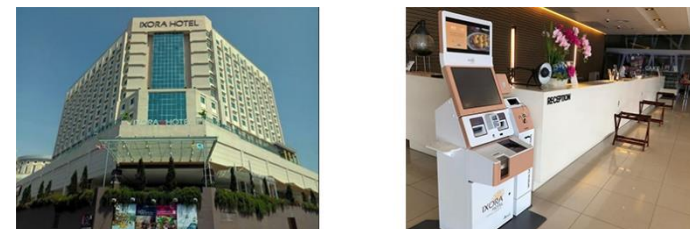


<新サービス導入>

病院の会計を後払いにできるスマートフォンアプリ「Sma-pa CHECKOUT（スマパチェックアウト）」を、東京医科大学病院に納入しました。病院が課題としている会計窓口の混雑や待ち時間の解消に役立つ会計業務効率化ソリューションとして、業務の効率化や患者の負担軽減になると評価されています。

・アルメックスのホテルチェックインシステム、マレーシアに初進出

2019年5月21日「東洋経済オンライン」



<サービス導入>

アルメックスのマレーシア法人ALMEX System Technology Asia は、5月4日にマレーシアのパナン州にあるIXORAホテル様に自動チェックイン機を納入しました。チェックイン時の受付処理やルームカード発行だけでなく、チェックアウト業務やクレジットカードによる精算も可能で、チェックイン・チェックアウトをスムーズかつストレスなく行うことができます。

コンテンツ配信事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
24,382	23

市場が活性化する中、引き続きユーザーエクスペリエンスの改良、マーケットの開拓を進め順調に契約者数を伸長。また、対応デバイスの強化を進めるとともに、独占配信作品や継続したMリーグ参戦等でコンテンツの拡充、認知度拡大を推進。

● TOPICS

・動画配信サービス「U-NEXT」がApple TVに対応開始

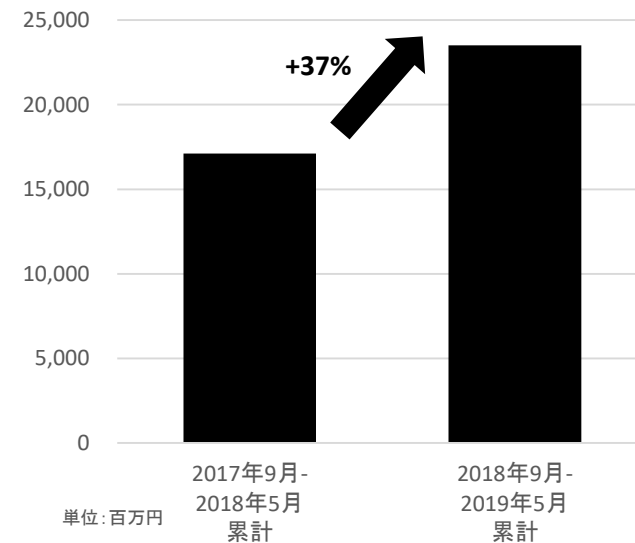
2019年4月19日「ORICON NEWS」



<デバイス対応>

要望の高かった「Apple TV」への対応を開始いたしました。「Apple TV」では、U-NEXTアプリをダウンロードするだけで、映画やドラマ、アニメをテレビの大画面でお楽しみいただけます。

● 成長事業商材のKPI (U-NEXT)



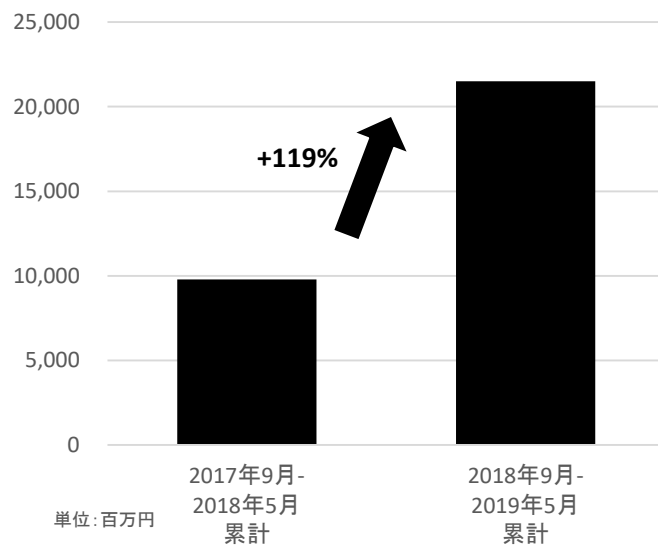
・コンテンツ配信事業商材「U-NEXT」は約1.4倍の増収

エネルギー事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
21,514	▲ 399

業務店の店舗や建物並びに商業施設向けに高圧および低圧電力の「USENでんき」を販売強化。新たに都市ガスである「USEN GAS」の販売を開始し、エネルギー事業への取組みを更に加速。他商材販売のきっかけとなるフック商材で、当社の重要商材として位置づけ販売を強化。

●成長事業商材のKPI（USENでんき）



- ・「USENでんき」は約2.2倍の売上成長

メディア配信事業

売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
3,958	233

飲食店向け集客支援サービス「ヒトサラ」では現在、オンライン即時予約に対応しており予約メディアとして予約利用者を拡大。インバウンド向けグルメサイト「SAVOR JAPAN」では様々な国のメディアと連携し積極的なユーザー拡大に取り組む。

● TOPICS

・『SAVOR JAPAN』インバウンド向け専門グルメサイトで業界No.1に

2019年5月28日「PR TIMES」

<企業間連携>

料理人の顔が見えるグルメメディア『ヒトサラ』の多言語版、訪日外国人向けグルメサイト『SAVOR JAPAN』において海外から利用される月間ユニークユーザー数が100万人を突破しました。東京商工リサーチによる調査の結果、インバウンド向け専門の業界No.1グルメサイトに認定されました。



セグメント別業績

2019年8月期 第3四半期累計	売上高 (単位：百万円)	営業利益 (単位：百万円)
■ 店舗サービス事業	35,670	6,393
■ 通信事業	29,805	2,326
■ 業務用システム事業	14,742	2,513
■ コンテンツ配信事業	24,382	23
■ エネルギー事業	21,514	▲ 399
■ メディア事業	3,958	233

各セグメントに配分していない全社費用は含まれておりません。

- ・ 高収益事業である店舗サービス事業は安定的に推移。
- ・ 安定成長事業である業務用システムは好調。
- ・ 成長事業であるコンテンツ配信事業は積極的な販売関連費用投下により会員獲得が伸長し売上高は前年比大幅増。

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2018年8月 期末	2019年8月期 第3四半期	差分
(資産の部)			
流動資産	37,348	40,594	+3,246
現金及び預金	13,708	14,868	+1,160
受取手形及び売掛金	17,315	17,350	+35
たな卸資産	3,520	5,273	+1,753
その他	4,730	4,291	△439
貸倒引当金	△1,927	△1,189	+738
固定資産	88,588	93,050	+4,462
有形固定資産	19,689	20,195	+506
無形固定資産	51,574	58,817	+7,243
のれん	47,905	54,941	+7,036
その他	3,669	3,875	+206
投資その他の資産	17,324	14,037	△3,287
その他	22,102	18,818	△3,284
貸倒引当金	△4,778	△4,781	△3
資産合計	125,936	133,644	+7,708

(単位：百万円)	2018年8月 期末	2019年8月期 第3四半期	差分
(負債の部)			
流動負債	35,866	40,654	+4,788
支払手形及び買掛金	14,067	15,935	+1,868
短期借入金	2,500	2,500	-
1年以内返済予定の長期借入金	4,906	4,891	△15
その他の引当金	836	293	△543
その他	13,556	15,601	+2,045
固定負債	75,065	75,521	+456
長期借入金	71,534	67,258	△4,276
退職給付に係る負債	2,699	3,308	+609
その他の引当金	241	356	+115
その他	588	4,598	+4,010
負債合計	110,931	116,176	+5,245
(純資産の部)			
株主資本	14,819	17,295	+2,476
資本金	94	94	-
資本剰余金	11,089	11,090	+1
利益剰余金	3,635	6,110	+2,475
その他包括利益累計額	139	126	△13
その他有価証券評価差額金	152	126	△26
退職給付に係る調整累計額	△13	0	+13
非支配株主持分	45	46	+1
純資産合計	15,004	17,468	+2,464
負債純資産合計	125,936	133,644	+7,708

- ・ スケジュール通り有利子負債を圧縮
- ・ 自己資本比率は13.0%となり前期末より1.1%改善

目次

1.

2019年8月期 第3四半期決算について

2.

2019年8月期 業績予想進捗について

3.

USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

2019年8月期業績予想進捗

(単位：百万円)	2019年8月期 業績予想	2019年8月期 第3四半期	進捗率
売上高	170,000	128,390	75.5%
営業利益	8,000	6,198	77.4%
営業利益率(%)	4.7%	4.8%	-
経常利益	6,500	5,279	81.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,000	2,474	82.4%
1株当たり連結当期純利益 (円)	49.95	41.20	-
EBITDA	17,000	12,875	75.7%
EBITDAマージン	10.0%	10.0%	-
EBITDA-CAPEX (投融資含む)	10,000	7,937	79.3%

業績予想に対して順調に推移。

第2四半期において固定資産売却益(特別利益)を計上したことにより、当期純利益は上振れ。

通信サービスの事業モデルの転換、および店舗サービス事業の販促費先行投入により営業利益は前期実力値より減少するものの、おおよそ3年以内での回復プラス超過収益の創出を図る計画。

目次

1.

2019年8月期 第3四半期決算について

2.

2019年8月期 業績予想進捗について

3.

USEN-NEXT GROUPの取り組みについて

USEN-NEXT HOLDINGS 中期経営計画を発表

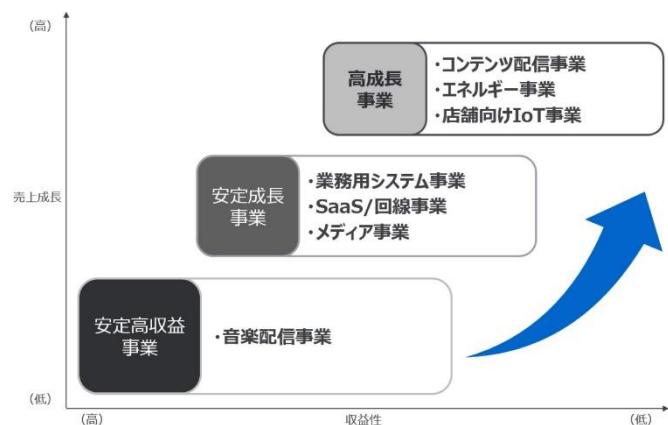


USEN-NEXT
HOLDINGS

・2019年6月6日に弊社中期経営計画を発表しました。

URL : <https://usen-next.co.jp/ir/material.html>

必要とされる次へ。
NEXT for 2024



Work
Style
Innovation

かっこよく働こう。
Be innovative for results!

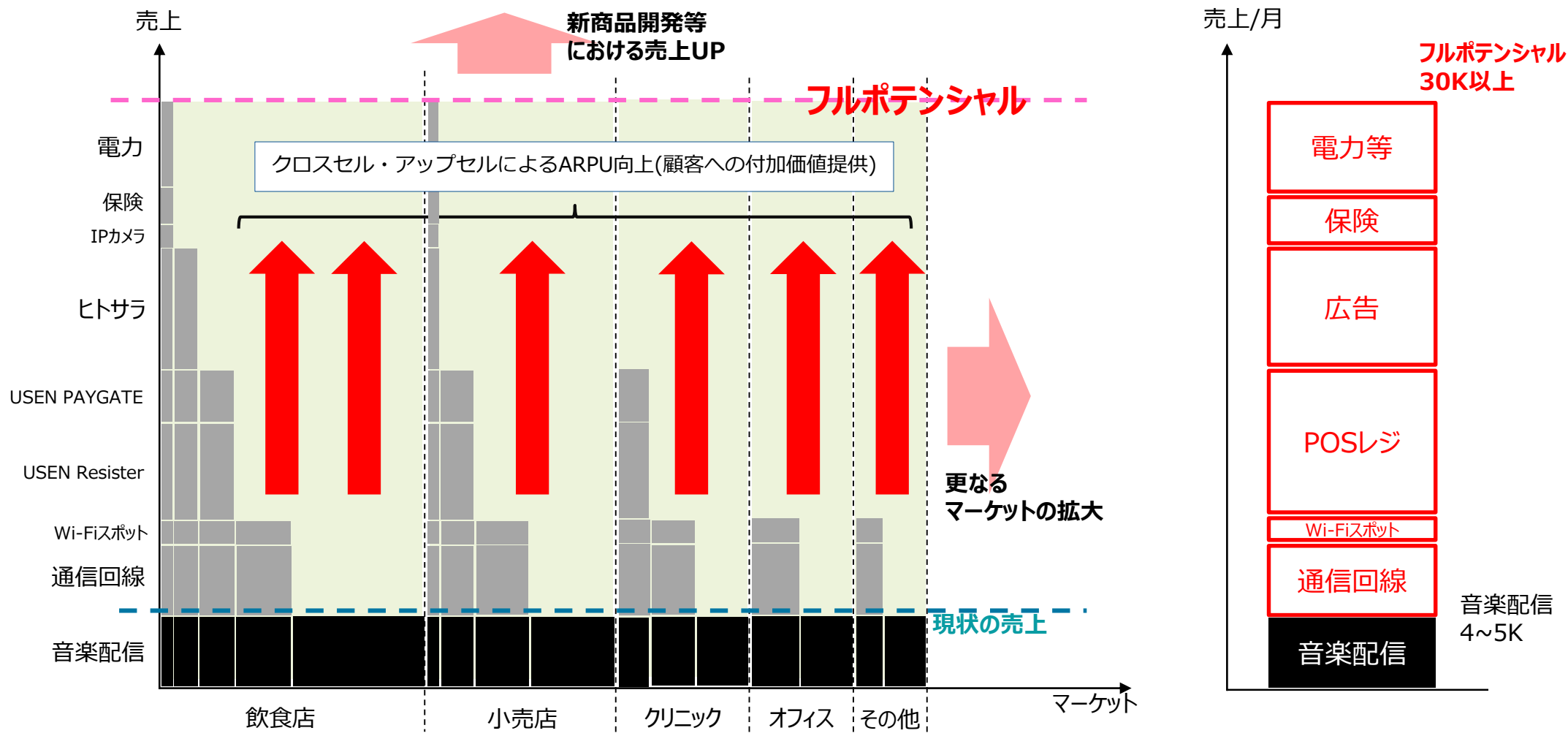
USEN-NEXT
GROUP

必要とされる次へ。



グループ顧客資産の有効活用 (再掲)

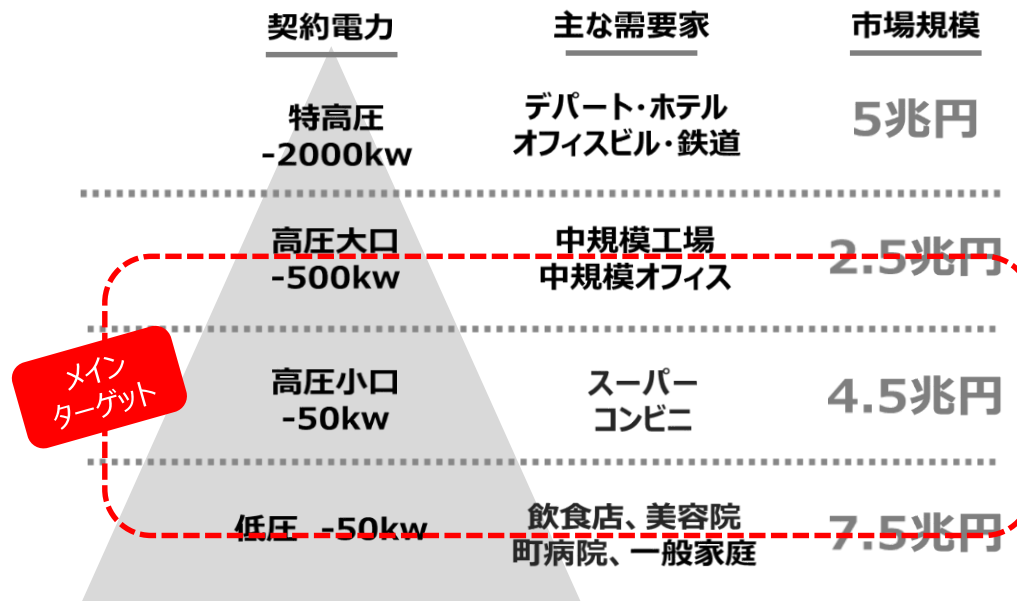
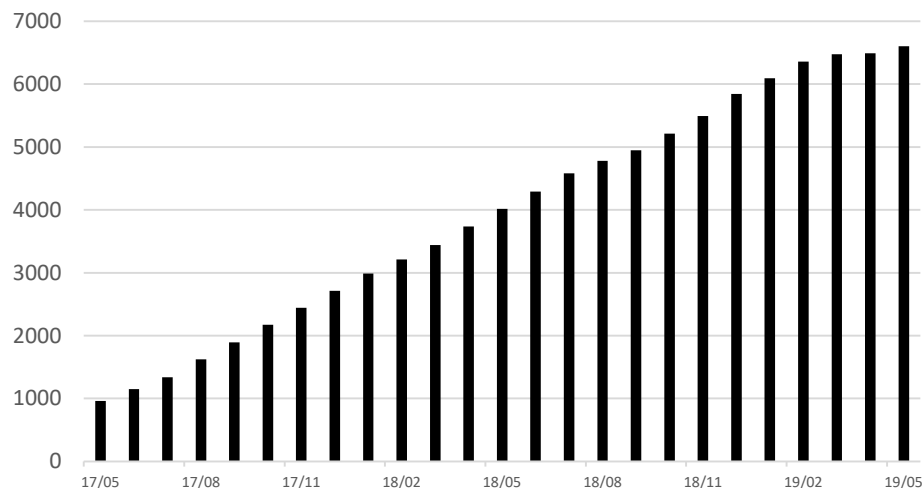
直販 + テレマ + 代理店 + Web・その他



現状、業務店向け売上の過半を音楽配信が占めています。グループ顧客資産・情報を有効活用し、従来の直販体制に加え、テレマや代理店等のマーケティングチャネルも積極活用し、通信回線や店舗向けソリューションの販売を強化、ARPUの向上を図っていきます。

電力事業の早期収益化

■「USENでんき」契約者数推移（高圧）

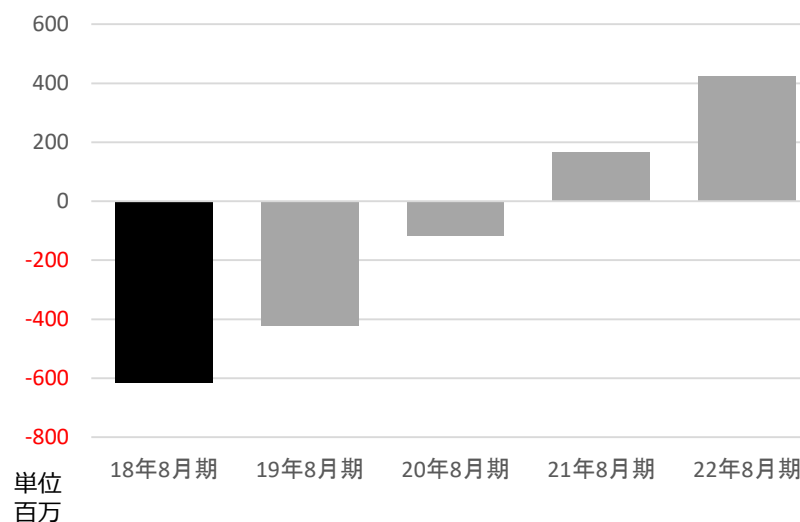


2016年9月の立上げより「USENでんき」は順調に契約者数を伸長。

2018年10月より電力小売りに加え、ガスの小売りを開始。(※)

「USENでんき」を、グループ商材のクロスセルに向けたフック商材として位置付け。

電力収益



(※)取り扱う商材は東京電力エナジーパートナーが提供する都市ガスとなります。

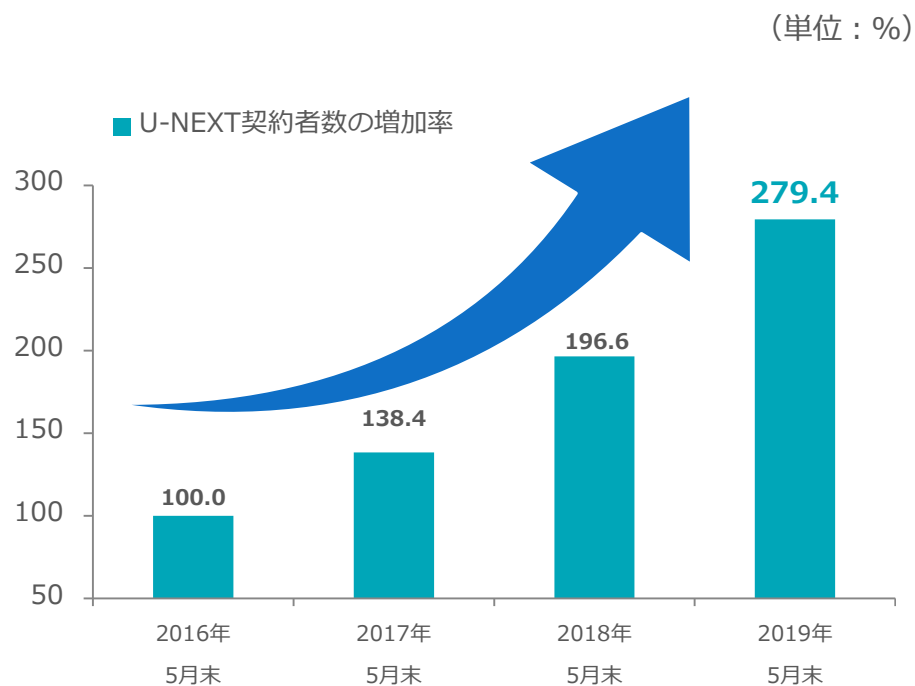
市場成長に伴うグループの取り組みについて (再掲)



映像配信事業の会員数動向

映像配信サービス「U-NEXT」では会員獲得が順調に推移しており
 ここ半年間で約18万ユーザーが純増

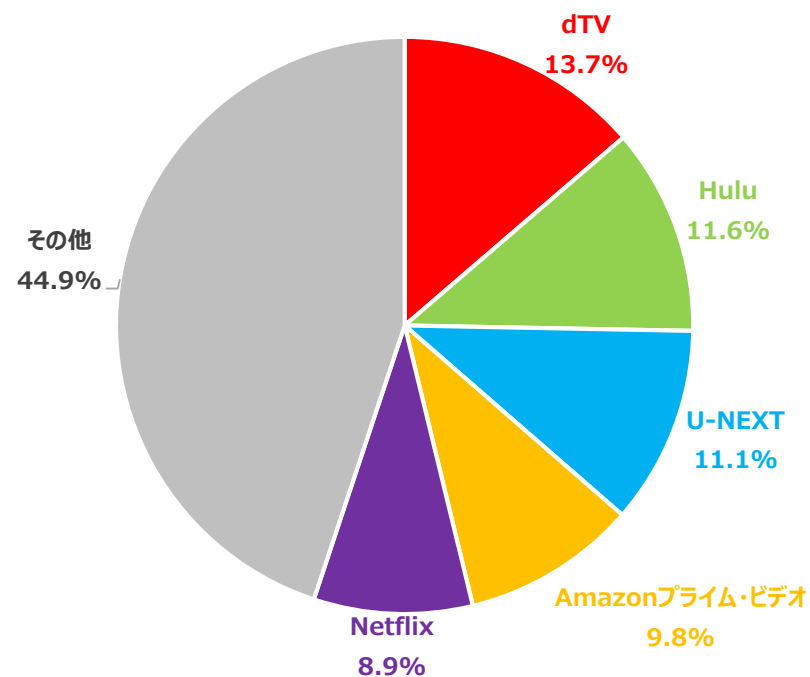
「U-NEXT」契約者数の増加率



※2016年5月末を100%として算出しております。

「U-NEXT」契約者数 3年間で**2.8**倍
 昨年同期比でも**42%**増

定額配信サービスシェア



動画配信サービス市場は前年比推計で19.5%増加、
 2023年には3,000億円規模まで拡大する可能性。(※)
 市場拡大の中、U-NEXTは国内シェア**TOP3**位を維持

(※) GEM Partners調べ
 円グラフについては下記よりUSEN-NEXT HOLDING作成
 URL: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000027.000013190.html>

将来見通しに対する注記事項

本資料に記載されている意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、リスクや不確実性を含んでいるため、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。